

薬物乱用は

「ダメ。ゼツタイ。」

薬物は「魔性のウイルス」

やめたくてもやめられなくなる

依存性



脳が薬物に支配される

コントロール不能



増殖・拡散していくと…

薬物の被害は「個人から社会へ」

今の社会では、薬物乱用によって“**加害者**”となるだけでなく、
いつ“**被害者**”として巻き込まれるか分かりません。



**事件・事故、
反社会的行動など**



自分と社会を守るために…

「薬物には手を出さない！」



乱用される薬物

Marijuana

大麻

幻覚作用

抑制作用

植物由来(大麻草)の薬物で、幻覚作用や記憶障害、学習能力の低下をもたらします。



大麻草



乾燥大麻



収穫された大麻草の花穂部分



大麻樹脂

【精神作用物質を濃縮した加工品】



大麻ワックス



大麻リキッド

大麻リキッドが充填されたカートリッジ



加熱吸引するための専用ヴェポライザー

■ 大麻成分を含んだ食品にも注意!



クッキー



キャンディー



チョコレート

そのほか

グミ

ハチミツ

スナック類

などにも…

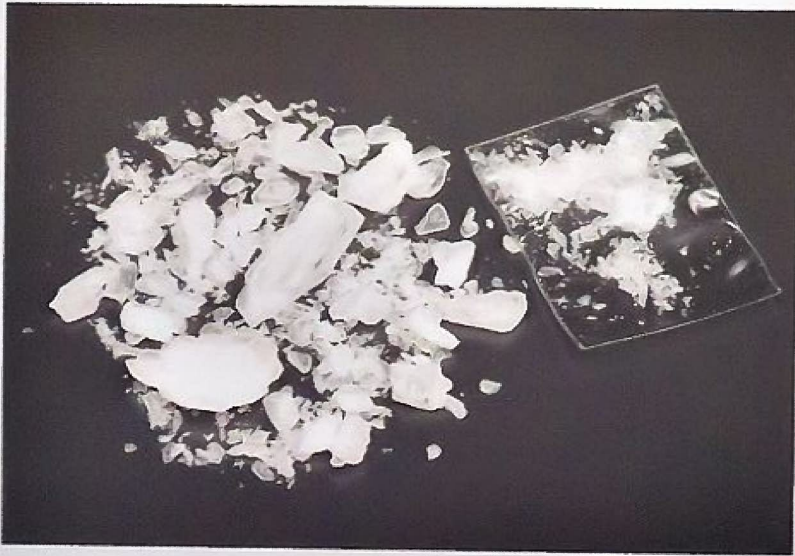
乱用される薬物

Stimulants

覚醒剤

興奮作用

脳神経系に作用して異常な興奮をもたらします。精神依存性が強く、中毒症状を起こすこともあります。日本で最も検挙者数が多い薬物です。



Dangerous drugs

危険ドラッグ

興奮作用

幻覚作用

抑制作用

麻薬などに似せて合成された有害な物質を含んでおり、呼吸困難や異常行動を起こしたり、死に至ることもあります。



バスソルトとして



合成ハーブとして



アロマオイルとして



乱用される薬物

Narcotics

麻薬

MDMA

興奮作用

幻覚作用



コカイン

興奮作用



コカの葉



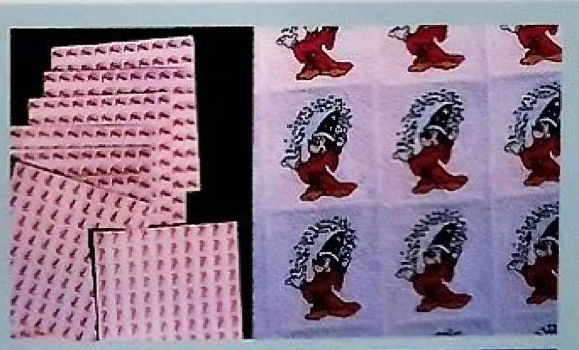
マジックマッシュルーム

幻覚作用



LSD

幻覚作用



ヘロインなど(あへん系麻薬)

抑制作用



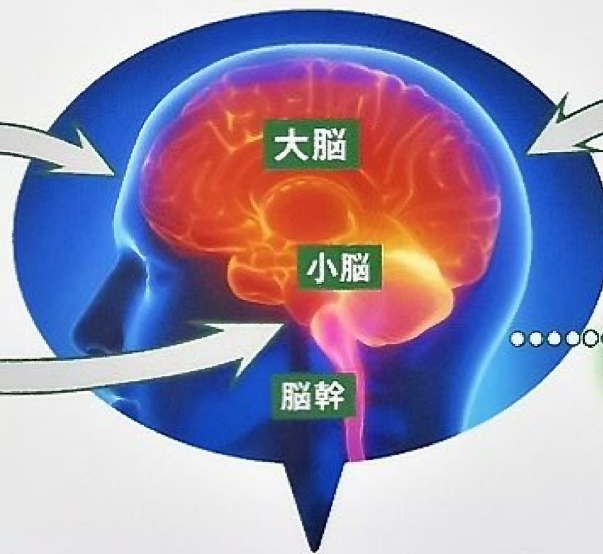
ケシの果実(ケシ坊主)の液汁が凝固したアヘンを原料として、モルヒネが生成される。さらに化学合成によりヘロインとなる。覚醒剤同様、依存性が極めて強い。

薬物乱用による脳・身体への影響

■ 脳（精神）への影響

人格の変容
意識障害
言語障害
幻覚・幻聴

運動機能障害
生命コントロール
機能の低下



記憶障害
認知障害
体性感覚障害

.....精神疾患
(精神病)

■ 身体への影響

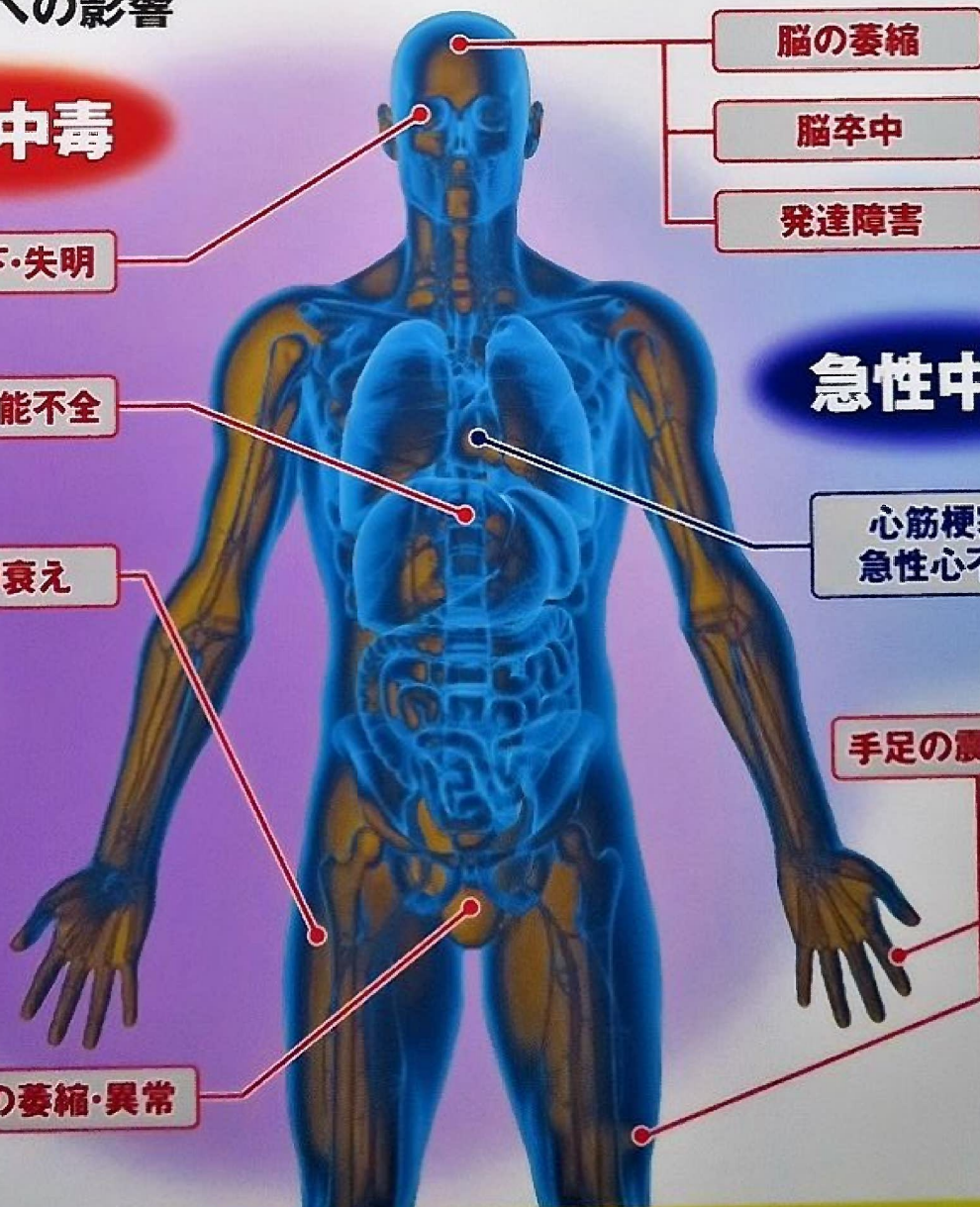
慢性中毒

視力低下・失明

臓器の機能不全

筋肉の衰え

生殖器の萎縮・異常



脳の萎縮
脳卒中
発達障害

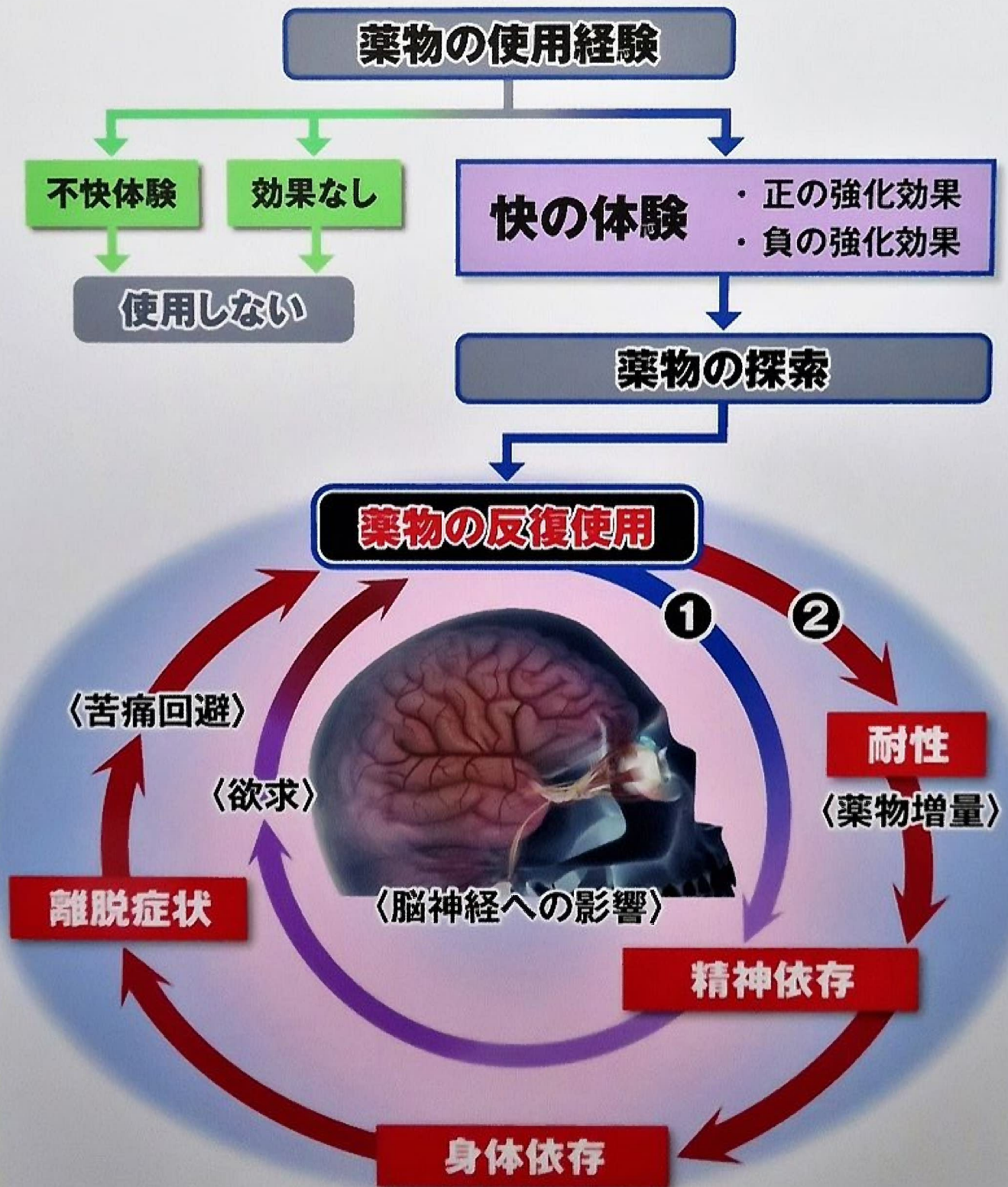
急性中毒

心筋梗塞・
急性心不全

手足の震え・麻痺

薬物依存 形成プロセス [I]

薬物乱用により満足感を得た人は、その経験を求めて再び薬物を欲するようになります。それが繰り返されていくと、やがて薬物なしではいられない「**依存**」の状態に陥ります。



薬物依存 形成プロセス [II]

軽い気持ちで薬物に手を出すと...

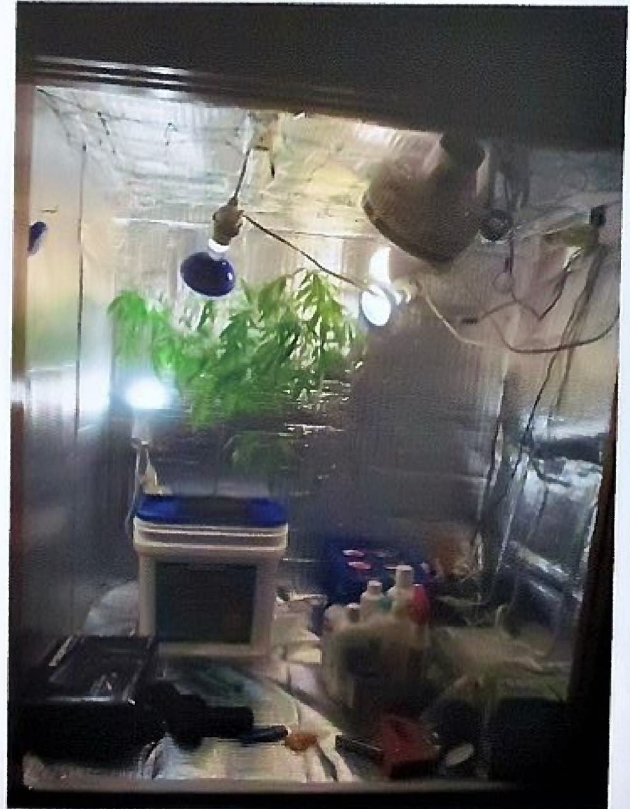
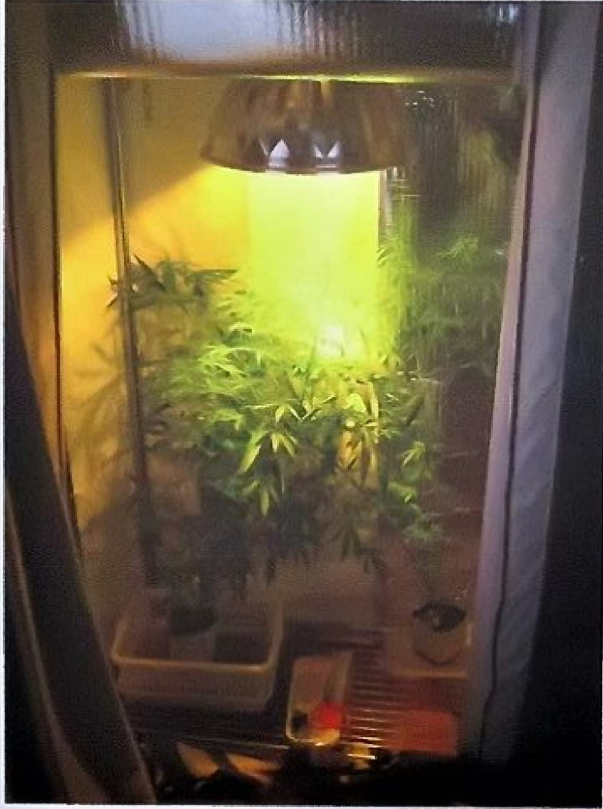


「薬物依存」になると、自分の意思ではやめられなくなります。

薬物犯罪の傾向

いま、「大麻不正栽培」の事犯が急増しています。

■人工照明などを使った家屋内栽培



■大規模栽培



■水耕栽培



■密売されている大麻種子

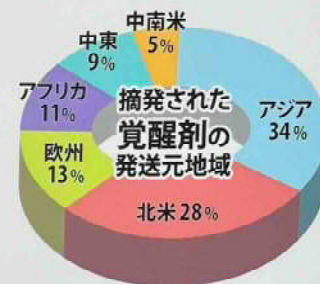
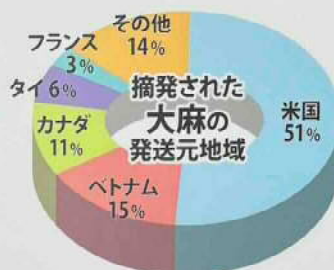


種子の品種改良が重ねられて
特徴のある大麻が数多く生み出されており、
アンダーグラウンドで取引されています。

不正薬物の密輸入事例 [I]

密輸事犯の摘発が全国で増加

国際郵便物・航空貨物を利用した密輸事犯や、不正薬物を隠し持った海外からの入国者が増加。全国の税関が、空港や港湾等で摘発する不正薬物の押収量も年々増加しています。



(令和5年・財務省資料/摘発件数ベース)

国際郵便・宅配便を利用した密輸手口が巧妙化



アメリカからの国際郵便物に隠されていた大麻草



覚醒剤を水溶液にしたフェイスパック(アメリカからの貨物)



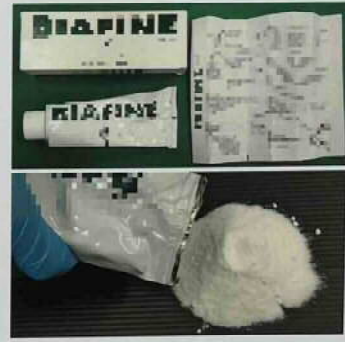
覚醒剤を染み込ませた装飾タイル(メキシコからの貨物)



蜂蜜容器に隠されていた大麻リキッド(カナダからの貨物)



サプリメント容器に隠されていたMDMA(イギリスからの貨物)



医薬品チューブ内に隠されていたケタミン(フランスからの貨物)

闇バイトで募った「荷受人」を利用

密輸組織がSNSによって「受け子」を募り、密輸入した不正薬物を賃貸物件の空き家・空き室を利用して置き配や不在票での受け取りを行う事例が増えています。



不正薬物の密輸入事例 [II]

■ 身体や手荷物に隠して持ち込むケース



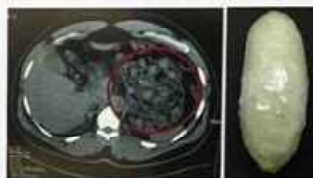
メキシコからの旅客が、衣服の下に大量の覚醒剤を隠し持って入国



ラオスからの旅客が、着用していたオムツ及び下着に覚醒剤を隠し持って入国



ブラジルからの旅客が、二重構造にしたスーツケースにコカインを隠して持ち込む



イギリスからの旅客が、覚醒剤の包みを飲み込んで体内に隠して持ち込む



アメリカからの旅客が、靴の中に隠した大麻草と大麻リキッド入りの電子タバコを持ち込む



南アフリカからの旅客が、中をくりぬいた本の中に覚醒剤を隠して持ち込む



ドイツからの旅客が、布団カバーの台紙にMDMAを隠して持ち込む

■ 海外旅行者を「運び屋」として利用

海外から帰国する際、現地の人から「日本の友だちに渡してほしい」と言われ、不正薬物を隠し入れた荷物を預かって入国。本人が知らないうちに「運び屋」に仕立てられ、事件に巻き込まれるケースも増えています。



(資料提供)



財務省関税局・税関では、社会悪物品の水際取締りを最重要課題の一つとして位置づけ、情報収集・分析の強化、取締機器の増強等、種々の施策を積極的に推進し、水際取締りの強化に取り組んでいます。